

・発行日 50・8・31
 ・発行 岡崎市AVL
 ・編集委員会 広報委

昭和五十年度夏期

視聴覚教育実技講習会成功裏に終る

七月三十日の校内放送研究会を皮きりに、VTR自作教材作成講習、OEP中級講習会の実施まで少々ハードなスケジュールで計画されましたが、参加してくださった先生方の熱心な受講態度と、企画運営にあたってくださった研修委員会・機材委員会の先生の努力とによつて、例年以上の成果を挙げることができました。

各研修会のあらまは、次のようでした。

一、校内放送研究会

参加者 児童生徒九十二名

教諭 五十一名

分科会 オーデオ(1)二分科会(併一分科会)

ビデオ 一分科会

各校の放送録音録画を視聴しながら、校内放送の現状と問題点について研究

講演

放送をする者の心得

NHK中部本部チーフアナウンサー

大井 安正先生

NHKのど自慢の司会者として、宮田輝アナウンサーの後を継いで活躍された大井アナだけに顔見知りで身近かな人の話を聴くような気安さでお話が聞けた。

二、VTR自作教材作成講習会

参加者 八十二名

内容 本年はカラー作品を作成することになつて、ワン・カム・ワン・ビデオ方式による基本的なVTR教材作成法を中心に

ポータブルVTRや連尺小学校のスタジオ利用による教材づくりも行われました

遊具の安全な使い方

激動の昭和史 大陸への進出

激動の昭和史 敗戦と復興

星座の話

大昔の岡崎

その他VTRのカガミ利用とコンセプトの用法を推進するために、自作教具作りも平行して進められました。この器具は間もなく完成する予定だそうです。

三、OHP中級講習会

参加者 八十四名

内容

県自作TPコンクール入選作の研究後、

任友スリー・エム社の講師から、カラー化による効果、回転移動法、透光紙利用法等中級TP作成技術についての講義を受けた後、TP作成に入りました。

TPはカラー化。二枚以上の合成分解回転または平行移動の三技法を応用して作成するという、条件規定の下で進められました。

必要の材料を自費購入して製作しましたので、参加なさった先生の中には一万円近く購入された方もあり、作品の出来ばえも受講態度も例年に比べて非常に立派でした。

なお作品発表で優れた作品に賞品が与えられました。

参加者の声

TPづくりの技法がよくわかり、有意義でしたが、費用がかゝり過ぎたように思いました。

皆さんが熱心に受講され、作品も大変立派な物が多く出て感心しました。

教研視聴覚教育分科会への案内

教研視聴覚教育分科会への案内
本年度の研究主題は「学習効果を高めるために視聴覚教材。教材をどのように活用したらいいか。」がすでに決定され、この主題にそつて、具体的な実践研究が進められていることと思ひます。

当日はそれらの実践を

- (1) 放送教材（ラジオ・テレビ）の特性を生かした利用法（放送学習と放送利用学習）
 - (2) OHPの効果的な利用法（自作TPの研究）
 - (3) VTEの効果的な利用法（コンセプトの利用法とカガミ利用のための器具考案）
 - (4) 自作映像教材の作成とその利用法（8ミリ映画とVTR教材を中心に）
- の四本の柱にそつて研究討議する予定です。
オブザーバーとしての参加者も歓迎いたします

ライブラリーだより

五十年年度購入フィルム選定会を行い、予定フィルムのリスト。アツプを終えていたゞきましたが、国庫補助金の大幅削減のため、約百万円のフィルム購入ができることに決りました。なおカラーデンスケは購入していただゞけます。